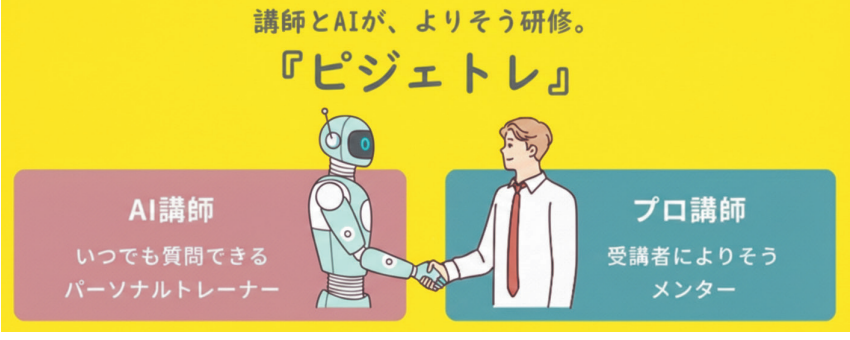
生成 AI 活用の新入社員研修サービス「ピジェトレ」

IT 未経験者の早期戦力化へ 人と AI の協働で育成変革

ディ・アイ・システム（4421・スタンダード）

ディ・アイ・システムは、長年にわたり「IT人材の育成」を主要事業のひとつに据え、企業の人材確保と育成を支援してきた。近年はIT人材需要の拡大や技術進化のスピードが加速する中、新入社員をいかに効率的かつ確実に育成し、早期戦力化できるかが企業競争力を左右する。同社は従来の実践型研修に生成AIを統合することで、育成プロセスを根本からアップデートする取り組みを進めている。



AI講師がいつでも疑問を即解決

同社では、2026年4月より生成AIを活用した新入社員研修サービス「ピジェトレ」を本格的に提供する。「ピジェトレ」は、AI講師、AIチャット日報、AI分析といった機能を組み合わせた教育プラットフォームだ。AI講師は時間を問わずに質問対応が可能なため、人間のプロ講師は受講者の個別指導に注力することができる。

実際の業務シーンを想定したAIロールプレイでは、受講者の対応をAIが客観的に評価し、フィードバックを行う。知識の定着度を自ら把握し、自律的な成長につなげる仕組みだ。

さらに、AIチャットを活用した日報作成では、AIとの自然な対話を通じた振り返りが可能だ。同時に、AIが受講者の理解遅れやネガティブな兆候を早期に検知し、管理者による迅速なフォローにつなげる。

大きな特徴は、AIによる効率的な学習支援だけでなく、メンタルケアやマインドセット形成についてはプロ講師が担当するという、人とAIの役割を明確に分担している点だ。AIは基礎知識のインプットや反復学習、客観的なスキル評価といった効率化領域を担う。一方、プロ講師は対話を通じた気づきの促進やモチベーション維持、メンタル面のサポートなど、人ならではの役割に注力。これにより、プロ講師は個別指導や育成の質向上に時間を割けるようになる。

研修カリキュラムは、ビジネス基礎からIT基礎、Java、インフラ、システム開発体験、インフラ応用まで段階的に構成されている。社会人としての心構えやビジネスマナーを身に付けた上で、コンピュータやネットワーク、クラウドといった実務に必要なスキルを体系的に学ぶ流れだ。

人材育成変革に着手

同社がこうしたサービスをスタートさせた背景にあるのは、従来型研修の限界だ。集合研修を中心とした画一的なカリキュラムでは、受講者ごとの理解度や習熟度の差に十分対応できず、研修効果の定量的把握も難しい。疑問点がその場で解消されないまま学習が進むことで、理解の遅れが積み重なり、結果として「研修で学んだ内容が配属先で十分に実践されない」という課題があった。

ディ・アイ・システムは、こうした課題に対し、人材育成そのものの変革に着手。IT人材育成では、個々の習熟度に応じたパーソナライズ化が不可欠でその実現手段として生成AIに着目した。長年培ってきた実践型研修のノウハウにAI技術を融合させ、IT未経験者であっても短期間で現場に貢献できる人材の育成を目指していく。

グループ会社が中核担う

同社の研修事業は、グループ会社のアスリーブレインズが中核を担う。アスリーブレインズは「ITエンジニア・DX人材の育成をワンストップで支援する」ことを掲げ、新入社員研修や、ビジネス研修、eラーニング、教材制作などを幅広く展開してきた。特に新入社員研修では、IT未経験者を前提としながらも、実務に直結するスキルを短期間で習得させる点に強みを持つ。

ディ・アイ・システムは、「人材の成長スピードこそが企業競争力の源泉」と位置付ける。「ピジェトレ」は、その成長スピードを加速させる基盤となる。IT人材不足が構造的な課題となる中、同社の取り組みは、人とAIが協働する新たな人材育成モデルとして期待されている。

株式会社ディ・アイ・システム
本社　〒100-0005　東京都千代田区丸の内2-1-1　明治安田生命ビル15F
https://www.di-system.co.jp/